

ぷらちなくらぶ会報 49号

現在、大竹は3ヶ月以上に亘る『主任ケアマネ』研修の真っ最中です。

主任ケアマネとは「他のケアマネに指導・助言を行なう事が出来る者」というのが主な定義。
そしてケアマネとは介護保険法上の職業ですが、ぷらちなくらぶで実施している福祉事業、対人援助職とは制度上の違いがあるだけで、利用者の自立支援の為に自分とは違う価値観の人も含め「人の力を重ね合わせる調整役」という意味では、遣る事は被っていますよね？

それにしても、何やら大層な役割です。
言語操作や思考展開が突飛な私が、調整役の方を指導・助言する『主任ケアマネ』という冠を付けて宜しい物か自問自答です。何故なら・・・

日々、対人援助職者として高齢者や障害者、子育て中の親子の為に走り回り、時に私生活を犠牲にしたり、濡れ衣を着る事が有っても黙って其れを受け入れながら“自立支援”の為に動いてくれている職員の皆が「達成感や納得感を持てる様に」と願って提案した事が、言葉の解釈相違で懸命に動く人に、凶らずも「辛いシワ寄せが行ってしまう」という悲しい事が起こってしまったり・・・

また、人の考え方は、情報の与えられ方で変わってしまう人が多く、「何が正しくて、何が正しくないか」極力、「自分自身で客観的に多面的に見つめて判断して貰いたい」と思っていますが、歪められた情報、時に刺激的な情報にあおられた人達にどの様に指導・助言すれば良いのかは一番の悩み所で、相手の考えを概念化したり、自分の考えを伝える事も容易に出来なかつたり・・・

そして、法人理念にある「自立支援」の解釈も様々で “ぷらちなカレッジ「e-学び」第2弾”[☆]で言えば精神的自立に属するのでしょうか？

私としては「自立」よりは寧ろ「自律」で、律の意味も「自己規制」というより「持てる能力を生かして自己判断により“自己処理”する」という考え方で進めています。

それは、何人もの終末期対応をさせて頂く中で、自立支援とは“本人の心が生きている事(その人らしさ)と人の中で生かされる事の支援”と思う様になり、其れは子育て支援においても全く共通と考えたからですが、以前、定例会で「子育て支援では“自立”はそぐわない」という意見が出て理解を得られ無かった事も有りました。

☆ ☆

という訳で、相手の考えも私の考えも伝わらず、駄目な事だらけだからです。

そこで、年が明けてh24. 1.14 伊集院さんによるNPO福祉ユニバーシティ“ぷらちなカレッジ”[☆]第一回オープンカレッジ で大竹も地球の文化や言葉を少しづつ、いや一つずつ勉強し、伝わらないコミュニケーションを考え直し、与えられた役割を果たせる地球人になろうと努力します。

伊集院さんには「手間がかかる生徒ほど、思い入れが強くなる」と以前、言われてます(〜;)。

☆ 別途、チラシを用意して、HP にも掲載しますので、皆様方も万障お繰り合わせの上、又、ぷらちな以外の方もOK ですのでお誘い合わせになって大勢でのご参加をお待ちしております。

一人ひとりが宝として輝き、力として社会の担い手になる為に。

☆ ☆

☆

☆ ☆

☆

☆

記：大竹恵美子

